



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：穴戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第43回例会

平成 26 年 5 月 28 日 (水) サンパレス福島

■会員/74 名 ■出席/44 名 ■出席率/59.46% ■メークアップ/30 名 ■修正/74 名 ■修正率/100.00%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ローターソング 我らの生業
- 3 来訪者紹介と会長挨拶
- 4 地区協議会報告
- 5 第 19 回青少年交換研究会福島会議報告
- 6 ガバナー補佐スピーチ
- 7 第一分区幹事スピーチ
- 8 閉会点鐘

### 会員の広場

5 月 31 日 福島民報

福島市の土湯温泉観光協会とNPO法人土湯温泉観光まちづくり協議会は 27 日、同市の山水荘で開かれ、今年度の事業計画などを決めた。協会は若手現代美術家の作品を温泉街に展示する「つちゆアラブドアートアニュアル」の開催や源泉探訪を再開し、誘客につなげることを決めた。両団体の役員を改選し、渡辺和裕氏を協会長と協議会理事長に再任した。

### 今日の一面記事

5 月 31 日 読売新聞

北朝鮮が拉致被害者の安否について全面的な再調査を約束した。重い扉が、ようやく少し動き出すことになる。拉致監禁をもじった〈拉致換金〉や一獲千金をもじった〈一核千金〉の創作熟語が生まれたくらいに油断のならない相手である。だまされることなく、核開発をめぐる米韓両国との協調を損なうことなく、いかにしてすべての拉致被害者を取返すか。安倍外交の腕前が試される。〈拉致の「拉」が怒り悲しむ中で「泣」とかすんだ日を忘れない〉(橋本利光)

## ◆会長あいさつ◆ 大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。5月24日(土)・25(日)には、各地で多くのイベントが行われました。その中で、昨年福島市で開催された、東北六魂祭が山形市で行われ、26万人が東北の復興を誓ったそうです。また、ミニSL運行会場のお隣である、ふくしまスカイパークでは、日本・スイス国交150周年を記念して、スカイフェスティバル(アクロバット飛行)の演技も十六沼からも見えました。本日は、4名の方よりご報告を頂きたいと存じます。ミニSL運行の件は、喜古社会奉仕副委員長からと第19回日本青少年交換研究会・福島会議については、大橋実行委員長よりご報告をお願いしています。

本日のゲストスピーカーとして野地利雄・東北第一分区ガバナー・黒羽好夫分区分幹事様には、本年度最後のご指導を宜しくお願い申し上げます。

## ◆地区研修・協議会報告◆

高橋勇雄 次年度会長



5月17日(土)「パルたいざか」にて野崎ガバナー以外の指示監督のもと、次年度指導者が一堂に会し、開催されました。地区スローガンは「ロータリーの心を大切に、クラブを活性化させよう」です。当クラブからは、8名の方と共に次年度の新体制で取り組みますのでご支援ご協力を御願いし報告と致します。

◆RIJYEC 主催「第 19 回国際ロータリー日本青少年交換研究会・福島会議」 リステル猪苗代で開催  
◆ 大会実行委員長 大橋廣治 P G 大会報告 ◆  
国内各地区より、ロータリアン・青少年交換を含む 350 名の出席を頂き 2 日間にわたる青少年交換研究会にオーストリア特命全権大使も来賓としてご参加されました。3 年前大震災で各国のロータリー活動が被災された、福島県相馬地方の高校生 23 名を 1 か月間オーストリアに留学させるプログラム実施しました。選抜された吉田昂城君はピアノの特技がみそめられ今年度からウエーンの音楽大学で学ぶこととなった。人は出会いと、感動から生まれる、ロータリーの素晴らしさ、世界に羽ばたく青少年交換研究会福島大会の感動を報告させていただきます。

## ◆野地利雄・東北第一分区ガバナー◆



地区活動に於いては、次年度活動が始まっておりますがクラブも同様かと思えます。今年度の活動も 1 ヶ月を残すところと成りまして 6 クラブ最後のガバナー補佐訪問となりました。各クラブからこの一年間好意的に支えられて来ました。東北第一分区ガバナー補佐としての大役を福島南クラブの名をけなすことなく出来れば、当クラブの意識高揚と効果的のクラブになるような思いでこの一年間、渡邊公平ガバナーの指導のもと黒羽幹事と共に、ロータリーの活動を行って参りました。世界平和活動を決して私は忘れることはありません。中途半端なことをするロータリアンに意見を述べたこともあり、会長幹事さんにも色々きつい事を言った事もありました。間違い無いのは、南ロータリーの皆さんの好意と友情に支えられた 1 年間でした。福島南さんには、新世代会議のホストとなって頂き大変お世話になりました。

「あれこれ何でも相談会」は 89 件以上の相談が御座いました。年輩の方々が多く健康や不動産の相談が多かったようです。避難されている方々始め悩んでいる方にとって少しでも心の支えになったのではないかと考えております。この活動は、毎年福島中央ロータリークラブさんがクラブ活動として社会奉仕委員会主催で行っています。私はもっと拡大した姿でロータリアンに知ってもらい、悩み事を解決し上げたいと思中央ロータリークラブの坂本会長にお願いし、分区共催の形で盛り況でありました。これが正に職業奉仕委員会の活動かと思っております。福島ロータリークラブさんには、新会員セミナーという姿で阿久津パストガバナーに講師となって頂き、又ロータリーソングに関しては、渡邊又男先生の指導のもと行って頂きました。分区のクラブ幹事研修会には、阿久津 P G より有意義なクラブ幹事研修

受けることが出来ました。21 ロータリークラブさんには、新しく子クラブを作った年で活動自体を非常に猶予していましたが、阿部会長はじめ IM では、ロータリーの公共イメージの高揚についてというテーマで行い、参加された方々は大雪で大変でしたが大変世話になりました。嬉しいニュースとして北海道の 2500 地区より、被災された当地区へ摩周湖の水 2000 本を届けて頂きました。地区財団委員長の平井氏と共に地区内の子供達に配布させて頂きました。孫がロータリーのマークのついた摩周湖のペットボトルを持っているのを見ると感じるものがあり感動致しました。つくづくロータリー会員で良かったと思います。見て・聞いて・会って・多くの友達を持つことが出来ました。これが私の財産だと思っております。又、これらのことが福島南ロータリークラブの一助と成れば幸いと思っております。最後に東北第一分区の皆様方に支えられてきたことを良き思い出として胸に刻んでおきたいと思っております。

## ◆黒羽好夫・東北第一分区幹事◆



皆さん、こんにちは、野地ガバナー補佐各クラブ 5 回周らして頂きまして会を重ねるごとに野地さんのスピーチが滑らかになってゆくのこのまま行くと RI 会長になるのかと思ひながら回らして頂きました。一言皆様方にお礼を申し上げさせていただきます。今年度、東北第一分区野地ガバナー補佐の幹事としてガバナー補佐会議や・会長幹事会を通して各クラブ様の活動や進行状況を共有各クラブ様の運営や分区行事がスムーズに行われるようにすることが私の任務として本日までやって来ました。その間各クラブの会長・幹事様を始めロータリアンの皆様には、大変なご協力・ご指導を頂きまして大変お世話になりました。お陰様を持ちまして無事に任務を終了できそうで御座います。誠に有難う御座いました。私にとりまして、この一年間は、各クラブさんを訪問させて頂きまして大変な勉強をさせて頂きました。そして、大変有意義な一年であったとも言えます。そして、ロータリーをもう一度見直す機会を与えて頂いたのかと思っております。メーキャップの楽しさを、当クラブの皆様方にも味わって欲しいと思ひました。ご清聴、まことに有難う御座いました。

## ー編集後記ー

野地利雄・黒羽好夫会員に 1 年間分区活動・渡邊公平ガバナーの代理として責務貫徹・支えた幹事様お疲れ様でした。会員一同 感謝です 穴戸(清)